

令和7年度
共同生活援助事業所
アットホームのぞみ
事業報告書

目 次

I. 利用者の状況	P2～3
1. 入退居状況	
2. 事業所と担当職員の状況	
II. 職員の状況	P4
職員の異動について	
III. 研修／会議等の状況	P4～5
1. 職場外研修／会議等の実施状況	
2. 職場内研修の実施状況	
IV. 大空会(利用者本人の会)年間行事の実施状況	P5
V. 生活支援の実施状況	P5～P6
1. 地域移行への支援について	
2. 事業所運営会議の実施	
3. 夜勤職員の配置について	
4. 地域連携推進会議について	
5. グループホーム利用者の会(大空会)について	
6. 事業実施内容について	
VI. 健康管理の実施状況	P7
1. 日常生活における予防及び衛生について	
2. 日常の健康管理について	
3. 健康診断の実施と各種検診について	
4. 感染症対策について	
VII. 避難訓練について	P7

I. 利用者の状況

1. 入退居状況(アットホームのぞみ、ホームつばさ、ヴィラ・コスモス、ホーム翔、ラフォーレ、えみしあ)

月	現員	入退居状況		異動の状況
		入居	退居	
4	38	1		4月15日 男性利用者 ラフォーレの利用開始
5	38			
6	38			
7	38			
8	38			
9	38			
10	38			
11	38			
12	38	1	1	12月1日 女性利用者 ヴィラコスモスの利用開始 " 女性利用者 サービス終了
1	37		1	1月 1日 男性利用者 サービス終了
2	36		1	2月13日 女性利用者 サービス終了
3	36			
合計		2	3	

2. 事業所と担当職員の状況(令和8年3月31日現在)

あけぼの福祉会 共同生活援助事業所 管理者 小野 裕

① アットホームのぞみ

利用者名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
A・Yさん K・Tさん T・Kさん N・Kさん N・Tさん N・Yさん	M・K O・Y	E・M S・M	K・M Y・F M・M Y・Y K・K	K・M(兼) M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y S・K U・K

② ホームつばさ

利用者名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜間)
A・Hさん O・Mさん K・Yさん K・Sさん K・Yさん S・Oさん T・Yさん	M・K O・Y	E・M S・M	M・N H・M	M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y S・K U・K	K・M O・T I・K

③ ヴィラ・コスモス

利用者名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
I・Tさん K・Kさん K・Yさん K・Mさん S・Mさん	M・K O・Y	E・M S・M	K・M Y・Y M・M K・K M・Y	K・M(兼) M・K S・S M・Y K・Y O・M S・K

④ ホーム翔

利用者名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜間)
A・Tさん I・Hさん O・Mさん S・Yさん H・Yさん W・Yさん	M・K O・Y	E・M S・M	F・K S・M M・M Y・Y	M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y S・K U・K	K・M O・T I・K

⑤ ラフォーレ

利用者名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜間)
O・Kさん K・Tさん K・Tさん H・Yさん M・Hさん W・Sさん	M・K O・Y	E・M S・M	N・T M・Y M・M Y・Y	M・K S・S M・Y K・Y O・M M・Y S・K U・K	K・M O・T I・K

⑥ えみしあ

利用者名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜間)
I・Kさん U・Kさん M・Mさん E・Hさん K・Yさん N・Yさん	M・K O・Y	E・M S・M	I・T K・H	K・Y M・Y S・K U・K	I・K K・S T・Y K・H(兼)

※個人情報の取り扱いにご配慮下さいますよう、よろしくお願いいたします。

2	26～27	令和7年度全道施設長研修	札幌市	M・K
---	-------	--------------	-----	-----

2. 職場内研修の実施状況

- ・令和7年 5月19日 GH 感染症対策委員会 ・食中毒予防について
- ・令和7年 9月22日 GH 感染症対策委員会 ・新型コロナウイルスについて ・防護服着脱訓練
- ・令和7年10月 7日 身体拘束適正化委員会
- ・令和7年11月21日 権利擁護研修会(法人研修に参加)
- ・令和7年12月19日 GH 感染症対策委員会 ・インフルエンザ、コロナウイルス研修・手洗いチェッカー
- ・令和8年 3月24日 権利擁護研修会(岩内あけぼの学園で行った研修に参加)
- ・令和8年 3月25日 GH 感染症対策委員会 ・BCP【感染症】シミュレーションと見直し

※月1回虐待防止委員会実施

IV. 大空会(利用者本人の会)年間行事の実施状況

月	活動内容	月	活動内容
4月		10月	
5月	役員会	11月	
6月	定例会 交流会(松尾ジギスカン)	12月	
7月	役員会	1月	役員会
8月	役員会 縁日祭	2月	定例会 新年会(高原ホテル)
9月	役員会	3月	役員会

V. 生活支援の実施状況

1. 地域移行者への支援について

令和7年度は新たに2名の方が共同生活援助のサービスを開始している。しかし、重度化や高齢化に伴い、ADL や身体機能の低下が予測される中、グループホームでの生活を継続できるよう、情報共有及び、支援スキルの向上を目的として、支援方法の検討や障がい特性の理解を深めるための会議を実施し、事業所全体で情報共有を行った。

また、昨年度サテライトから地域移行(一人暮らし)した利用者の方へのサポート(金銭管理や通院、食事支援等)は現在も継続している状況である。国が推進しているグループホームから一人暮らしへの移行については多くの課題が残っている。

2. 事業所会議の実施について

新たな会議として、支援会議、業務改善会議を開催し、課題の整理、支援方法の検討や協議を行い、実践に繋げ、支援内容の評価や見直しを行い、利用者の方が安定した生活を送れるよう、会議運営を行った。なお、記録システム(ケアカルテ)導入から2年が経過し、記録の質や重要性について、職員一人ひとりの意識が向上しており、記録から支援に結び付けるなど、より専門性の高い支援を行った。

3. 夜勤職員の配置について

円山地区に2名、大浜地区には勤務サイクルに応じて1～2名夜勤職員を配置した。なお、大浜地区の夜勤者については近隣のグループホーム(アットホームのぞみ、ヴィラ・コスモス)の巡回を行い、行動特性上の課題がある利用者の方への対応として、今年度は巡回の頻度を増やし、夜間における安全確保及び、急病等の緊急時対応に努めた。

4. 地域連携推進会議について

地域との連携強化を目的に地域連携推進会議を実施し、地域住民や身元引受者を構成員とし、2カ所のグループホームの見学及び意見交換を行った。

5. グループホーム利用者の会（大空会）について

大空会の活動として、役員会と定例会を開催し、円滑に話し合いが進むようにサポートを行った。春の交流会や新年会は利用者の方が主体となり、イベントを開催することで、達成感や自己肯定感の向上につなげた。さらに、行事等への要望、意見を積極的に取り入れるなど、適切な助言やサポートを行った。

地域住民との交流については、縁日祭を通して障がいへの理解を深めるとともに、交流する機会を設けることで、地域の方と共に生活していく意識を高めた。

6. 事業実施内容について(定例会・役員会は除く)

① 大空会交流会

・令和7年6月13日 松尾ジンギスカン

② 縁日祭

・令和7年8月21日 サンライズ駐車場

③ 大空会新年会

・令和8年2月6日 高原ホテル

④ その他の行事 《個人実施状況含む》

4月15日	健康診断実施
4月20日	小樽市へ外出～買物（2名）
5月 3日	余市町へ外出～余暇（4名）
5月 5日	小樽市へ外出～余暇（3名）
5月12日	集団胃がん検診（岩内町実施）
6月29日～7月2日	東京旅行（2名）
7月24日～25日	函館旅行（1名）
8月 2日	小樽市へ外出～買物（2名）
8月17日～18日	札幌旅行（4名）
9月 7日～ 8日	札幌旅行（1名）
9月 9日	石狩へ外出～墓参り（1名）
9月24日～27日	大阪旅行（3名）
10月 3日	小樽市へ外出～買物（2名）
10月21日～24日	東京旅行（3名）
10月29日	広域避難訓練
11月 5日～ 6日	旭川旅行（2名）
12月21日～22日	札幌旅行（1名）
1月16日	札幌市へ外出～買物（1名）
1月29日～30日	札幌旅行（2名）
2月10日	小樽市へ外出～映画鑑賞（1名）

VI. 健康管理の実施状況

1. 日常生活における予防及び衛生について

- ① 手洗い及び手指消毒を励行する事とし(玄関及び洗面所にはアルコール消毒機器を常設)また、手拭用のペーパータオルを用意し、間接的な感染を防いだ。
- ② 入浴時、必要に応じて怪我や皮膚の状態を観察する等、異常があれば迅速に対応した。
- ③ 食品や調理器具等の衛生管理を徹底し、温度や湿度の調整に心掛け、食中毒の予防に努めた。
- ④ 怪我等が予測される環境については、速やかに整備を行った。

2. 日常の健康管理について

- ① 常勤で看護師を配置し、日々の健康観察や通院の有無など、支援員と連携を図りながら、対応した。また、各ホームへの巡回の頻度を増やし、健康管理に努めると共に感染症予防対策の強化に努めた。
- ② 毎朝のバイタル測定や血中酸素濃度の測定を行い、ケアカルテで健康状態や様子を確認し、体調不良が見られた際は、管理職や看護師に連絡、通院又は常備薬で対応した。
- ③ 体重及び血圧を測定し健康状況の把握に努めた。
- ④ 身元引受者に同意を頂き、インフルエンザの予防接種を行った。
- ⑤ 感染症予防マニュアルや緊急時のフローチャートを新たに作成し、職員会議や感染症対策委員会で協議や周知を行った。
- ⑥ 通院後の見守りや静養等に関し、看護師、支援員、医療機関と連携を図り、細心の注意を払い悪化を防いだ。

3. 健康診断の実施と各種検診について

- ① 年1回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃がん、肺がん、結核、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。
- ② 町内の歯科に協力を依頼し、歯科検診および治療に努めた。また、検診時に歯磨きの指導や義歯の装着について、助言を受け口腔内の清潔を確保を行った。

4. 感染症対策について

- ① 年4回、感染症対策委員会を開催し、食中毒やインフルエンザ、新型コロナウイルスの研修を行った。
- ② 毎日の検温や体調管理を行い、帰寮した際の手指消毒の徹底、感染症流行時期にはマスクの着用等、言葉掛けやサポートを行った。また、建物内の消毒を行い感染予防に努めた。
- ③ 数名の方がインフルエンザ、新型コロナウイルスに罹患したが、感染症対策マニュアルに沿って食事提供や住み分けを行うことで、重症化する利用者の方はいなく、静養期間を経て復帰している。

VII. 避難訓練について

- ① 年4回、火災及び風水害を想定(夜間想定も含む)しての避難訓練、通報訓練を実施し、消防署への報告を行った。
- ② 年2回津波、地震を想定しての避難訓練を行った。
- ③ BCP 訓練と研修では、災害レベルに合わせた待機や避難場所、移動手段の整理等、災害時の行動基準の見直しと更新を行った。